

東京都市大学4キャンパスの変遷

世田谷キャンパス

1929 昭和4年

五反田に武蔵高等工科学校が開校



1932 昭和7年

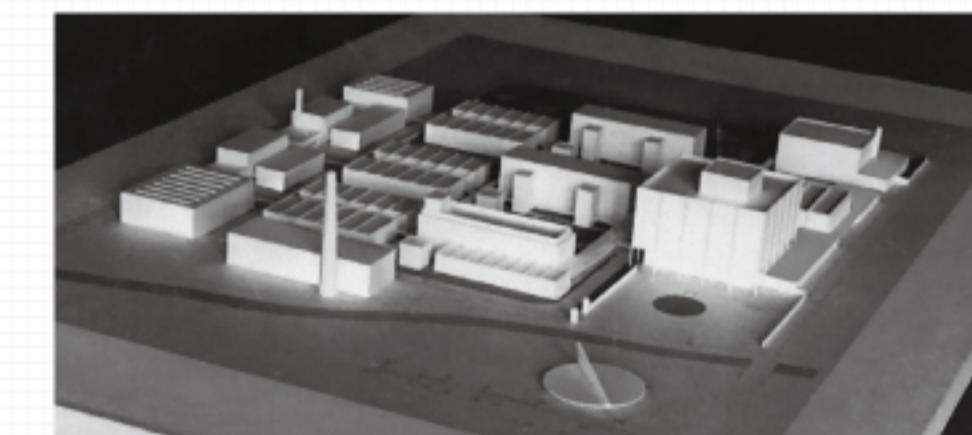
大岡山に移転



1955 昭和30年

廃校の危機に五島慶太翁が支援。経営を引継ぐ

大学経営が危機に瀕し西村理事長の懇請を受けて五島慶太翁が経営を引き継ぐ。翁は直ちに同大学の校舎を全て鉄筋コンクリートに建替える10ヵ年計画や原子力研究所の設置などに取組んだ。



武蔵高等工科学校の五反田仮校舎は荒廃した工場跡地で低地にあったため雨漏り浸水で授業ができないこともしばしばであった。目黒蒲田電鉄㈱の専務であった五島慶太翁はその窮状を知って大岡山に土地を斡旋、併せて23,000円を寄付、新校舎も目黒蒲田電鉄㈱が施工した。

1940 昭和15年 大岡山から現在地に移転



吹抜けと列柱が莊重感を演出した校舎正門



天井中央部のガラス天井からの採光方式が珍しかった階段教室

大岡山校舎が生徒増に対し校地狭隘なため五島慶太翁が玉堤（現在地）に土地を斡旋。学校の資産状態が悪く地主が信用しないため東急電鉄㈱の信用で借地し、学校に転貸する形をとった。

1949 昭和24年

武蔵工業大学に昇格



昭和20年代の校舎全貌

現在の東京都市大学世田谷キャンパス



等々力キャンパス

1939 昭和14年

五島慶太翁によって東京都世田谷区等々力に東横商業女学校が開校



紀州徳川家の玄関を移築した東横商業女学校の玄関



健康で風格が高く計画に強く自立した女性の育成を掲げた

1956 昭和31年 東横学園女子短期大学が開学

幼稚園から短大までの一貫教育体制を構築



幼稚園から大学までの運動会（1956昭和31年）



1959（昭和34）年頃の東横短大・高校・中学校舎全貌

2009 平成21年

東横学園女子短期大学と武蔵工業大学が統合し東京都市大学等々力キャンパスとなる

現在の東京都市大学等々力キャンパス



横浜キャンパス

1997 平成9年

武蔵工業大学が横浜市都筑区に開学

現在の東京都市大学横浜キャンパス



王禅寺キャンパス

1961 昭和36年

原子力研究所が川崎市王禅寺に完成

現在の東京都市大学王禅寺キャンパス

